

江陵NEWS

～新たなる夢への挑戦～

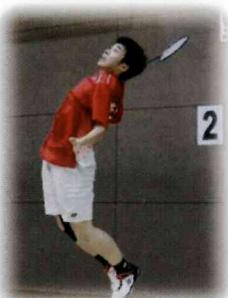
2017年
6月 第2号

◆ 運動系の部活動を紹介 ～ 高体連とともに ～ ◆

江陵高校はどの部活動も盛んに活動しており、各部活動の生徒が毎日夜遅くまで練習に励んでいます。その努力の成果が好成績へとつながっています。そこで、今回は5月25日から5月27日の間で行われた高体連の写真を交えながら、“一瞬に懸けた”生徒たちの姿を一挙に紹介していきます。



【バドミントン】



【柔道】



【卓球】



【バレーボール】



【サッカー】



【剣道】



【陸上競技】



【バスケットボール】



【硬式テニス】



高体連団体競技では 女子バレーボール優勝、バドミントン男子団体準優勝・女子団体第3位、女子バスケットボール第3位、柔道男子団体第3位という成績を収めました。その他の部活動や個人戦でも続々と上位に入賞し、6競技で全道大会の出場権を獲得しました。

《夢への挑戦》Vol.2

夢を追いかける本校卒業生にインタビューを毎月展開していきます！お楽しみに！

◆ どんどころに仕事のやりがいを感じますか？

介助を行って、利用者様が笑顔でお礼を言ってくださったり、仕事ぶりを上司や利用者様にほめられた時はとてもやりがいを感じます。

◆ 江陵高校で学んだ事で現在の仕事に役立っていることはありますか？

介護施設では、基本的な介助技術を応用に変えていくことがとても大切なので、江陵で学んだすべての事が、今の仕事に大変役立っています。

◆ 高校時代どんなことを学んでおくべきだと感じますか？

「人のかかわり方」が一番大切だと思います。社会に出た時に、今まで以上に人とかわる事が多くなります。そこで、高校時代に学んだ人のかかわり方がとても重要になってきます。高校三年間で適切なかわり方や、良い信頼関係の築き方を学んで欲しいと思います。



介護老人保健施設 ケアステーションアンダンテ
楠瀬 農妃さん
(帯広市立南町中学校出身)

◆江陵高校福祉科想乱舞◆

第26回札幌YOSAKOIソーラン祭り参戦!



本校福祉クラブが6月10、11日に行われた第26回札幌YOSAKOIソーラン祭りへ4度目の出場を果たし、圧巻の演舞を魅せました。部員である川瀧颯人くん(福祉科3年生・帯広市立西陵中学校出身)は「今年は衣装、楽曲、振り付けを一新しました。また、3年生となり最後の出場だったので今まで以上に気持ちが高まりました。こうして演舞できたのも今まで支えて下さった方々のおかげだと感じております。」と大会を振り返りました。今後も、福祉クラブの活動から目が離せません。

◆福祉科情報◆

3年生最終実習スタート!

介護実習の集大成となる3年生の介護実習(22日間)がスタートしました。今回は個別援助計画といって、利用者の方が抱えている課題や困難さを改善できるように介護計画の立案を行い、今まで通りのその人らしい生活を継続できるような支援とはどういったものかといった、より実践的で専門的な介護技術を学びます。3年間培ってきた介護の技術や知識を存分に発揮して、未来の専門職としてふさわしい実習となるよう期待しています。



介護実習の1日の流れ

本校福祉科では、1年次14日間(実習A)、2年次11日間(実習B)、10日間(実習C)、3年次22日間(実習D)の計57日間の介護実習が行われます。本校の実習では、生徒一人ひとりの希望に合わせた実習施設を選定し、卒業後の進路を見据えた実習となるようサポートしております。

実習の1日の流れは、右図のようになっています。介護実習では、基本的にこの流れにそって職員の方の丁寧な指導の下介護に関する知識や技術を学びます。

